

## 低学年期における探求力を育む算数の授業づくり

和歌山市立貴志南小学校	上平果歩
和歌山市立藤戸台小学校	山下あい
有田川町立田殿小学校	田中宏樹
有田川町立石垣小学校	山口 勇
附属小学校	川村繁博、松本都望
教職大学院	藤本禎男

### 1. 本研究の目的と概要

本研究は、和歌山大学教育学部附属小学校の教員と、和歌山大学教育学部の教員が連携し、授業改善や新たな指導方法を生み出すことを目的としている。

研究代表者を教職大学院の藤本とし、附属小学校から川村（2年生担任）、松本（1年生担任）が連携し共同で研究を進めることとした。さらに、本年度は県内及び市内公立小学校から4名の先生方が参加してくださることとなった。

### 2. 今年度の研究課題

本年度の研究課題を“低学年期における探求力を育む算数の授業づくり”とし、児童が主体的に課題に取り組み、疑問・課題を持ち深めていけるような算数の授業内容・教材開発について研究を行うことにした。

### 3. 本研究の活動概要

#### (1) 附属小学校教員の実践

年間を通して、低学年期における探求力を育むために、算数科における表現力を育成しようとして取り組んだ。1学期は、半具体物や数図ブロックを使って、問題場면을表現することに取り組んだ。2学期からは、半具体物や数図ブロックの操作をもとに、図にかき表す活動に重点を置き取り組んだ。また、式の意味にこだわり、問題場면을言葉で表現することも大切にしてきた。これにより、子どもたちは図を描くことに苦手意識をもつことなく、問題場면을図、式、言葉で表現することができた。これらの取組は、低学年期の子ども達が探求的に算数に取り組む上で大きな力になったといえる。

また、探求力を育むための方策の1つである省察性を高める取組として、学習のふりか

えりを書く活動にも重点を置いた。授業の中での学びの姿と、ふりかえりを照らして子どもたちをみとり、その内容を価値づけていくことで子どもたちのメタ認知力や探求力を培うことができた。自己の学びを表現し実感していくことは、探求的に学んでいく子どもたちを支えることに繋がっていたと考える。

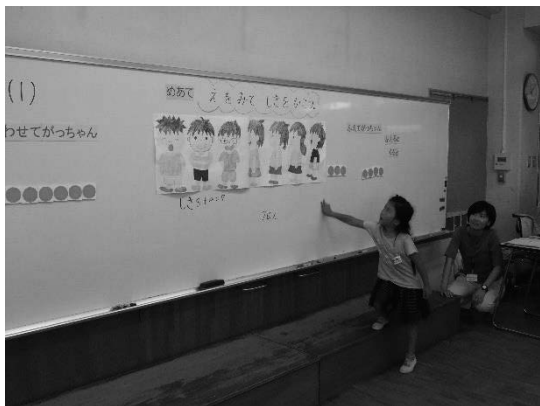


写真 附属小学校における1年生校内研(6月27日)「えをみてしきをかこう」

#### (2) 公立学校の先生方との連携

夏季休業中に、本校の研究発表会(10月27日)も視野に入れ、本研究に参加して下さった公立学校の先生方と、低学年算数に関する指導案検討をおこなった。公立学校における授業実践の豊富な先生方から、知識面だけでなく経験を踏まえた多くの助言をいただき、授業の構想を深めることができた。

### 4. 課題と展望

大学と附属小学校において、連携協力する上ではまず、日程調整することの困難さがあった。そのため、大学教員に授業参観してもらったり、授業について協議したりする機会を持つことがむずかしかった。また、研究協力者として参加して下さった公立学校の先生方との意見交流も夏季休業中にしかすることができなかった。

今後、学部の研究代表者と共同研究者である附属小学校教員とが連絡を密に取り合い、定期的な授業参観や協議の場となるような方向を模索したい。また、その内容を踏まえ、公立学校の先生方と指導案検討を行う時間をもう少し取れるように考えたい。研究代表者のコーディネートにより、大学、附属小学校、公立学校の連携が今後さらに強くなり、授業研究をより深いものにしていきたいと考える。